

主要事業・主な新規事業

■主要事業

- 新神泉総合支所建設事業（建て替えに要する設計監理、工事費等） 4億4,335万円
- 障害者総合支援事業（障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業） 2億7,038万円
- 道路新設改良事業（利便性の向上のための幹線道路の拡幅や舗装等） 2億 319万円
- 児童運営事業（子育て支援のための民間保育所等への支援） 1億8,345万円

■主な新規・コロナ対策事業

- 総合福祉センター環境整備事業（改修に要する設計監理、工事費等）※コロナ対策 6,738万円
- 丹荘保育所整備事業（旧丹荘保育所解体に要する設計監理、工事費等） 4,389万円
- 水道料金減免事業（水道料金減免に係る費用）※コロナ対策 3,012万円
- 消防団車両更新事業（車両購入費用等） 2,472万円
- プレミアム付き商品券発行事業補助（商工会への補助）※コロナ対策 2,200万円
- ※その他、「子育てモバイルサービスの導入」や「新生児への臨時特別給付金事業」なども実施します。

神川町総合計画 基本5施策の歳出 主な内訳

1. 安心できる子育てと生涯の学習を活かすまちづくり 2. 安全で快適に暮らせるまちづくり

- 各小中学校教育振興事業 1億4,097万円 →教育施設の改修費や外国語指導助手派遣事業等
- 生涯学習活動推進事業 5,450万円 →社会教育施設の改修費や生涯学習講座事業等
- 道路橋梁維持事業 1億6,587万円 →幹線道路の拡幅、舗装等
- 清掃事業 1億3,275万円 →塵芥処理、し尿処理等

3. 健康で安心に満ちたまちづくり 4. 活気に満ち元気に働けるまちづくり

- 各種検診・予防接種事業 8,453万円 →がん検診、インフルエンザ予防接種事業等
- 高齢者福祉事業 2,805万円 →高齢者への生活・介護支援等
- 商工振興事業 9,185万円 →観光・商工業分野における各種振興事業
- 農業振興事業 7,026万円 →農林業分野における各種振興事業

5. 町民と行政が協働し希望に満ちたまちづくり

- 区長会組織等助成事業 1,295万円 →行政区への助成等
- 広聴広報活動事業 571万円 →広報かみかわ発行・ホームページ経費等

神川町では平成30年より新たな総合計画基本5施策をもとに具体的な事業を行っています。これらの事業により、町の将来像として掲げている「人を育てて まちが育つ 未来につなぐ 住みよい 神川」を目指しています。

会計別予算額一覧(一般会計・特別会計・企業会計)

区分	会計名	予算額	前年度比(%)
一般会計		60億4,800万円	△2.6
特別会計	国民健康保険	15億 231万円	△0.1
	後期高齢者医療	1億6,837万円	16.4
	介護保険	11億3,900万円	△0.5
	町営バス事業	1,046万円	7.5
	観光事業	2,990万円	12.0
	公共下水道事業※	-	皆減
企業会計	水道事業	2億7,946万円	△4.2
	下水道事業	1億1,474万円	皆増
合計		92億9,225万円	△2.1

【特別会計】

特定の事業を行う場合や特定の収入に基づいた事業を行う場合、その事業に係る経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて設置するものです。

【企業会計】

地方公営企業法に基づき経理され、利用者の水道料金などで運営されています。

※公共下水道事業特別会計は、令和4年度から企業会計(下水道事業)事業費用に移行しました。

町のお金の使い道 令和4年度予算のあらまし

問合せ 総合政策課 財政管理担当 ☎0495-77-0701 FAX0495-77-3915

令和4年度のまちづくりの基本となる当初予算が、3月議会で可決成立しました。

会計別に予算をみると、一般会計予算が前年度比2.6%減、1億6,200万円減額の60億4,800万円となります。

歳入では、町税及び神泉総合支所建設事業に伴う繰入金の増の一方、丹荘保育所整備事業完了に伴う町債の減を見込んでいます。

歳出では、過去に借り入れた町債の償還終了により公債費が大きく減額しています。

また、一般会計に5つの特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・町営バス・観光）及び2つの企業会計（水道事業・下水道事業）を加えた総予算額は、前年度比2.1%減、1億9,656万9千円減額の92億9,224万8千円となります。

一般会計歳入歳出予算 60億 4,800万円 [前年度比 2.6%減]

